



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ
2019～2020 年度 高山中央 RC 会長テーマ
～「躍動！」～Move up



◆会長 坂之上 健一 ◆幹事 堀口 裕之 ◆会報委員長 和田 良博 ◆会報担当 和田 良博

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1237 回	56 名	55 名	44 名	—	80.00%
前々回 1235 回	56 名	55 名	31 名	8 名	70.91%

●点 鐘

●ロータリーソング 我らの生業

●高山中央ロータリークラブ 職業倫理基準

●会長の時間 会長 坂之上 健一

皆さんこんにちは。本日は「会員増強委員会」の担当例会となっておりますので、会員増強に関連した話を少ししたいと思います。

まず、皆さんがロータリークラブに誘う場合、「ロータリーって何？」って尋ねられたらどのように答えられますか？

この質問に、わかりやすく答えるために次の3つの事を自分の言葉として言えるようにしておけば良いかと思います。

(1) ロータリーはリーダーのネットワーク

我々ロータリークラブには、地域社会の多種多様な業界のリーダーが集まっており地域が抱える問題やニーズに取り組んでいます。

(2) ロータリーでアイデアを広げる

ロータリーでは、クラブの会議や地区会議・地区大会などで大勢の仲間と交流を通じて、多様な考えを学ぶことができます。そうして各会員が知識や経験を生かしてボランティア活動や支援活動を行っています。

(2) ロータリーで行動する

ロータリーでは、各クラブが主体性をもって奉仕活動に取り組み、地元のボランティア活動から、発展途上国での支援まで、世界中の地域社会に持続可能な変化をもたらすために活動をしています。

このように、自分の言葉として常に考えておけば「ロータリーって何？」と聞かれたとき明確に答えることができるのではないかと思います。

最後にポールハリスの言った言葉の中から一つ

「ロータリーが私たちにとって何を意味するにせよ、世界は、その活動成果によってロータリーを知るので。」

以上、会長の時間とさせていただきます。

有難うございました。

●幹事報告 幹事 堀口 裕之

◎RI 本部より

・ザ・ロータリアン誌

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

・2022-23 年度ガバナーノミネー決定宣言

岐阜ロータリークラブ 高橋 伸治 君

(たかはし しんじ)

◎ロータリー米山記念奨学会より

・ハイライトよねやま 239

●会員維持増強/会員選考/職業分類委員会 統括理事 田中 雅昭



本日は会員維持増強/会員選考/職業分類委員会から 3 名の方に卓話を頂きます。又、配布致しました、職業・専門知識・スキルに関するアンケート調査を行いたいと思いますので、ご協力をお願いします。本調査(ステップ1)をもとに当クラブの現状と

今後の方向性を鑑みる資料にしたいと思います。5 月には 2 名の新会員さんを予定しています。当クラブに見えない職業の方を是非ともお勧めして頂き、スキルアップを図りましょう。

会員増強委員会 会員スピーチ

<会員増強について>

三枝 祥一



先日、高山市協働のまちづくりフォーラムに参加した折、「人と組織と地球のための国際研究所」代表者川北 秀人氏の講演を聞かせていただきました。

その時話されたのが、10 年後、20 年後の日本、高山市の未来像とその時組織としてどう変わらなければいけないかということでした。

その中で、これからは人口より課題が増える時代・社会は、「これまで通り」では歯が立たない。「気づ

かないふり」が、判断と行動を遅らせる。課題解決先進地になるには、チャレンジにやさしく。頭も、心も柔らかくと説かれました。

一方、世界の中の日本は、国民一人当たりの GDP は 1995 年 3 位、2000 年 2 位、2005 年 14 位、2010 年 13 位、2015 年 20 位、生産人口(15 歳～65 歳)は 20 年前と比べ 11%減少しています。

一方、2020 年の高山市は、高齢化率 33.2% (日本の高齢化率 27%)

人口は 2005 年 92,231 人 2020 年 85,332 人

2025 年推定 81,090 人となります。

今後組織は、行事を半減して、事業(福祉・防災+経済)を増やす。

イベント(お祭り)からサービスへ、「役」から「経営」へと説かれました。

この話は、まちづくりだけではなくロータリーにも通じる話かなと聞かせていただきました。まだまだ多様なことを話されましたが時間の関係で次回とさせていただきます。ありがとうございました。

<会員増強について>

平林 英一



平成 3 年チャーターメンバーで入会して 29 年早いものです。

当時、私はテニスに明け暮れた毎日でした。友達も同級生かテニスの仲間。そんな時テニス仲間先輩の針山さんや溝際さんに誘われ高山中央ロータリークラブとの縁が始まりました。

退会された三輪さん、前川さん、田口さん、いろいろな意味ですごかったと懐かしく思います。

私が 40 歳になるころで、仕事もさることながら、人との出会いに重要性を感じる時でした。ロータリークラブの名前は知っていましたが職業においてもまた、社会人として充実した人の集まりかなと考えていました。

確かに好景気の時自信に満ちた人がいるんだなあと思いました。

また、驚いたのが奥さんまでクラブに巻き込んでの認証状伝達式です。仲間を通し、連携、団結実行、平成 28 年度の劔田ガバナーの時もそうでしたが、素晴らしい経験ができたと思います。

ロータリークラブの活動を通じて大袈裟かもしれませんが、人は人を作る、育てる、その価値も大きいと思います。

ロータリアンは皆、職業を通じてまた、奉仕活動、財団と米山奨学への寄付においても個人個人存在感を持って行動する素晴らしい仲間だと思います。その仲間一人でも多くの人に入会してもらい、世界の平和と人づくりのために会員増強に力を入れることが大事かと思えます。

また、高齢化に向かうロータリアンの存在感の重要性も皆で考えてほしいとも思えます。会員の年齢構成においてもまた、女性会員とのバランスもだんだん大事になるような気がします。

そして一番大事にしたい事、「四つのテスト」です。真実かどうか、みんなに公平か、行為と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか

人としてどう生きるか。仲間ふやしたいですね。

<ロータリーと思考の整理学> 益田 大輔



皆さん、こんにちは。会員増強に関し、会員増強委員会メンバーの立場からお話させていただきます。かの名著、「思考の整理学」(外山滋比古著)に依ると、

「同じ専門の人間同士では話が批判的になってちっとも面白くない。気心が知れていて、めいめい違ったことをしているも

のが集まって、思ったことを何でも話し合うのが良い。生き生きとして躍動的な思考ができて楽しい。遅い知的創造が可能となる。ダイアログ的(対話的)、つまり、多元的・複眼的で不思議な刺激があるのだ。これを(私は勝手に)ローター方式と呼んでいる・・・生物学的に近親交配が宜しくないように、文化・芸術・学問においても、似たものは似たものに影響を及ぼすことができないのだ・・・」とのことです。一業一人の理念で始まったロータリーは本質的に創造性の高い組織体なのでしょう。

また、最近の Well-being Study(幸福学)では個人や組織の幸福度が上がると、創造性が 3 倍に、生産性が 1.3 倍になるという報告があります。顧客満足度<従業員満足度<従業員幸福度ということです。幸福度が上がる要素も分析で絞られており、①やってみよう②ありがとう③なんとかなるさ④ありのままに、の因子が重要です。会員増強・会員拡大の成果を生産性と考えると、高山中央ローターの幸福度を上げることが、従来強みである創造性のさらなる up に繋がり、生産性も向上、つまり 3 人入会のところが 1.3 倍の 4 人入会となる(学術的には)と思えます。

<ニコニコ BOX>

本日こそ、本当にパン販売をします。

先週は申し訳ありませんでした。

今日こそ、ご協力をお願い致します。 熊崎 元康

今、流行中のコロナウィルス肺炎と間違われる位の風邪を引き一ヶ月以上治るのにかかりました。久しぶりの出席です。 古橋 ひと実

昨日は名古屋で次期地区チーム研修セミナーを無事終えることが出来ました。この後の次期の事業にしっかりとつながると確信しました。先月は誕生日プレゼントをありがとうございました。 中田 学